

インフォメーション

すべてのお申し込み・お問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp
メールでお申し込みの際は、件名を各イベントタイトルとして、氏名・年代・住所・電話番号をお知らせください。



講座

初めての市民活動を応援します「はじめての助成金申請」

日 時：12月10日(土)
「はじめての助成金申請 助成金基礎編」午後1時半～午後2時半
「はじめての助成金申請 見せ方アピール編」午後3時～午後4時
内 容：市民活動を立ち上げ予定の方、助成金の申請を考えている方を対象に、活動資金についての基礎から、知っておきたい助成金の特性、申請書を書くコツを学ぶ講座を実施します。どちらか一方だけでも、両方でも受講可能です。
会 場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
定 員：各15名(先着順)
対 象：市民活動を立ち上げ予定の方 新たに助成金申請を検討している方
資金調達の必要性が迫られている団体 助成金の獲得に苦労している方・団体
資金調達があまりうまくいっていない方・団体 新規設立団体・NPO法人など
参加費：無料

まちのわライブラリー企画展示「全国まちづくり見本市」

期 間：2016年11月16日～12月15日
会 場：仙台市市民活動サポートセンター
1階まちのわライブラリー
まちのわライブラリーでは、様々なまちづくりの様子を全国から集めたフリーペーパーや小冊子、報告書などで紹介しています。今回は、東北の協働によるまちづくりを取り上げます。



マチノワWEEK まちづくりのアイデア広場「触れる」「交わる」「考える」

日 時：2016年11月3日(木・祝)～11月6日(日) 平日 午前9時～午後10時/日曜・祝日 午前9時～午後6時
会 場：仙台市市民活動サポートセンター 全館
4日間にわたり、まちづくりを担う多様な主体と連携し、仙台で行われている協働の取り組みや県内外の事例を、トークイベント、ワークショップ、展示など日替わり企画で紹介します。詳しくは、ホームページをご覧ください。
申込は、専用ウェブフォームをご利用ください。 HP <http://sapo-sen.jp/event/3123/>



期間中のイチオシをご紹介します！

触れる マチノワークショップ&カフェ

日 時：11月5日(土) 午前10時～午後5時/11月6日(日) 午前10時～午後2時
会 場：1階 エントランス
参加費：無料※ワークショップによって有料のものもあります
内 容：普段地域で活動するNPOがワークショップを開き、それぞれの活動をわかりやすく紹介します。ワークショップは1時間ごとに団体が入れ替わるサーキットスタイルです。多彩な活動に触れてみてください。
スケジュール：(敬称略・出展順)
11月5日(土) Anego、仙台JOCS、NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット、ベガルタ仙台・市民後援会、仙台文の會、mon-stella
11月6日(日) 日本勤労者山岳連盟宮城県連盟朋友会、宮城県漢詩連盟、みやぎ民話の会、リボンヌ手芸部 宮城、NPO法人ドットジェイビー
※ワークショップは当日申込です。 ※詳しいタイムテーブルはサポセンホームページをご覧ください。

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい…

今月の休館日：11月9日(水)・24日(木)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分
[HP]<http://www.sapo-sen.jp> [Blog] <http://blog.canpan.info/fukkou/> [Twitter] @sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターが仙台の市民団体を取材しに行きます！
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/writer>

情報ボランティア@仙台の学生記者がワクワクビトを取材しています！
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16>

▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2016年11月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 葛西 淳子 松村 翔子 黒川 夕紀
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

ぱれっと 11

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2016 No.207

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の
ワクワク
ビト

imamoi
アートディレクター/グラフィックデザイナー
ざとう しほ
佐藤 志保 さん(30)

デザインで障害のある人の得意分野に光をあてる

ピアノ鍵盤をモチーフにしたブックカバーやペンケースなどのパンチングレザー商品は、名付けて「ショパンチ」。仙台市の福祉事業所「みどり工房若林」の看板商品です。青葉区の佐藤志保さんは、施設の利用者が描いたイラストや文字を生かしたロゴ、カードなどの販促ツールを制作。「福祉の商品だからではなく、お気に入りの雑貨として手に取ってほしい」と目指すところを語ります。宮城野区の福祉事業所「希望の星」の新品商品「触って感じる名言ノート」は、視覚障害のある人たちと制作しました。音楽イベントでの販売を目的に、利用者が真っ白な表紙と裏表紙にヴァイオリン、ピアノをエンボス加工で表現。さらに作曲家たちの名言を点字で施しました。障害のある人の得意な仕事をデザインに活かしています。福祉の分野に関わるようになったのは、2015年春。障害のある人の経済的自立には、商品の売り上げが大きく関わることを知りました。「私の得意なこと、できることがあれば力になりたい」と、今後の活動に意欲を燃やします。

取材・文 及川 愛結(宮城学院女子大学4年)
三好 桃子(東北大学4年)

特集

ショッピングセンターで

絵本を交換

世代を越えてつながる地域の輪

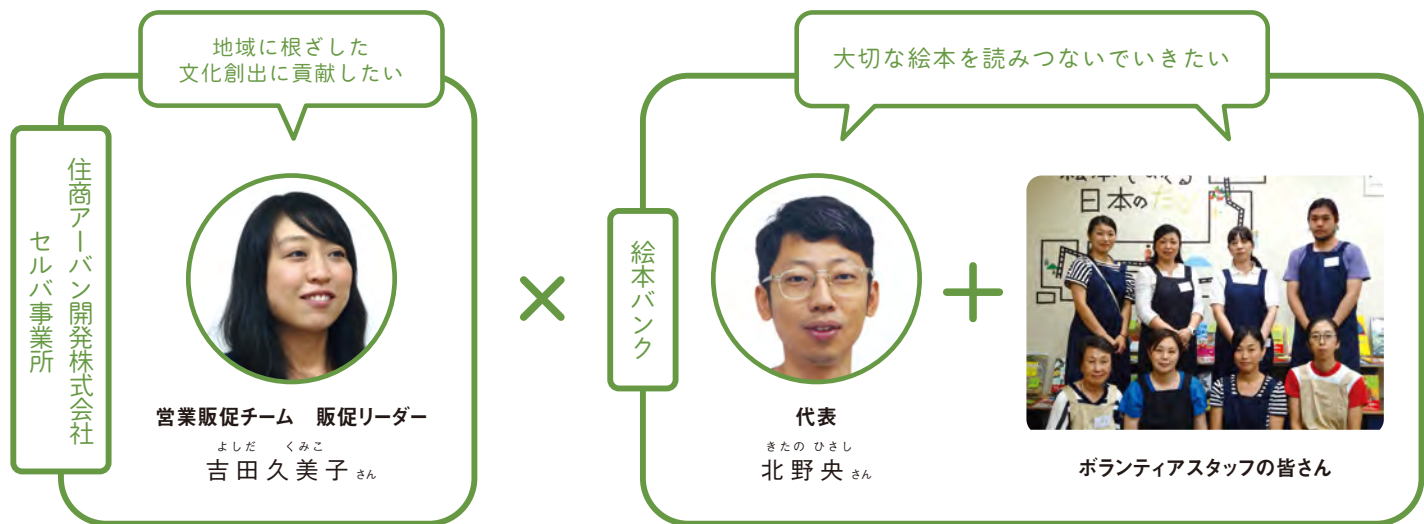
imamoi

HP <http://www.imamoi.com/>
Mail info@imamoi.com

ショパンチは青葉区中央3丁目にある、障害者施設商品の協働アンテナショップ「エフプランノイチ」で販売しています。触って感じる名言ノートは、12月6日(火)に東京都文京区で開催される「第42回トヨタロビーコンサート」で販売を予定しているなど、販路を県内外に広げています。仕事のご相談はメールにて。

ショッピングセンターで絵本を交換 世代を越えてつなげる地域の輪

子どもの頃、多くの人が手に取って読んだり、読み聞かせてもらったりした絵本。しかし、大人になるとその絵本を読む機会は減ってしまうかもしれません。各家庭に眠っている絵本を交換し、次の人に絵本を引き継いでいく活動があります。まさに絵本を循環させ、文化の広がり^{セルバ}と継承を目指す市民活動団体「絵本バンク」と、地域貢献を目指す住商アーバン開発株式会社が運営する商業施設SELVA(以下、SELVA)の協働の取り組みを紹介します。



絵本でつながる交換会

絵本バンクの交換会には、多くの親子が交換したい絵本を抱えてやってきます。持ち込まれた絵本は、ボランティアスタッフが本の状態を見て査定し、ポイントがつけられます。そのポイントを使って、絵本バンクが所有する約500冊の中から欲しい絵本を選び、交換することができます。

交換会は、仙台市泉区の商業施設SELVAの4階コミュニティルームで、年に2回、開いています。そのほか、SELVAのセンターコートを使って年2回大規模な交換会も開催。絵本バンクは、子どもが暮らしやすいまちづくりと、絵本の文化継承を目指す市民活動団体です。交換会は、絵本を介した親子の交流の場にもなっています。

地域に文化的かわりを

この取り組みが始まったのは、2008年。若者や子どもたちが関わり、地域の活性化を目指すSELVA主催の催しで、絵本バンクの代

表北野央さんとSELVA販促担当者の吉田久美子さんが出会ったことがきっかけでした。吉田さんがSELVA館内を活用し、「地域の人たちと何か面白いことができないか」と模索していたところに、北野さんが絵本バンクの企画を持ち込みました。

地域の人々に文化的な関わりを持ってもらい、絵本を循環させたい北野さんの想いと、地域の人たちに交流の場を提供したいSELVAの想いが重なり、協働の取り組みが実現しました。SELVAは、絵本バンクに活動の場と、新品絵本を購入する費用としてセルバ基金を提供しています。セルバ基金とは、SELVAの社会貢献の取り組みの一つです。レジ袋削減によって積み立てられたお金の一部が、地域の課題解決に取り組む団体の活動資金などに充てられています。

ボランティアスタッフは、絵本バンク独自の交換会の仕組みや運営方法に試行錯誤を重ねてきました。新しく購入する新品の選書なども担っています。ボランティアスタッフの一人は、「それぞれの生活にあわせて、ゆったりと活動するのが続けるコツです」と語ります。また、



■連絡先
絵本バンク Mail eb@ehonbank.com HP <http://www.ehonbank.com/>
SELVAの社会貢献活動 HP <http://www.selvaselva.com/csr/>

「絵本を通して、子どもたちに関われるのが本当に楽しい。今後も活動が続けていきたい」と意気込みます。継続的に活動を続けることで、幼い頃交換会に通っていた子どもが成長し、再び絵本バンクを訪れたという出来事もありました。「良い絵本は、世代を越えて読みつなげていくものです」と北野さんは語ります。

世代を越えた交流の先に

現在では、泉区に限らず仙台市内外から、絵本に興味のある人が来場します。また、他の地区でも交換会の開催を願う声が出てきました。「一緒に活動してくれるボランティアスタッフを増やしたい」と北野さんは、今後の活動の拡大に前向きです。吉田さんは、「これからも地域活動団体や学生団体などと連携し、地域のひとたちの交流の場をつくってきたい」と思いを話します。絵本の交流を通した文化的活動が、地域の世代を越えた交流を後押しし、子どもが暮らしやすい社会の形成につながっています。(取材・文 宮崎真央)

映画監督の思いに触れる映画祭
——市民ライター 齊藤利直——

毎年秋口、せんだいメディアテークを会場に開催される「ショートピース！仙台短編映画祭」は、今年で16回目を迎えました。主催は、仙台市内の学生や社会人によるボランティアで構成される「仙台短篇映画祭実行委員会」。仙台では上映機会の少ない短編映画の上映や、監督によるトークイベントなどを開催しています。長編映画と比べて低予算で作成できる短編映画の上映は、若手監督の支援にもつながります。映画祭の企画運営は、市民が自主的に行っているのが特徴です。実行委員長の菅原睦子さんは「常に人と人とのつながりを大切に活動を心がけています」と、活動方針を強調。観客や若手監督たちに満足してもらえるように尽力してきました。その活動が実を結んだのが、東日本大震災が起きた2011年でした。震災による影響で、その年の映画祭の計画が一旦は白紙になりました。しかし、これまで映画祭に関わった41人の監督たちが無償で3分11秒の上映作品を制作。無事に映画祭を継続して開催することができました。

他の映画祭と違い、有名・無名関係なく作品を扱う同映画祭は、若手監督にとって貴重な発表の場。トークイベントでは、映画を見るだけでは分からない、監督の熱い思いにも触れることができるはずだ。

私も人気作品だけが良いのではないことを学び、映画の楽しみ方が広がりました。



▲仙台短篇映画祭のこれまでの軌跡を語る菅原睦子さん(とうほくあきんどでざいん塾主催「あなたの知らない世界Vol.8」にて)

■連絡先
仙台短篇映画祭実行委員会
Mail info@shortpiece.com
HP <http://www.shortpiece.com/>

お設立本

みんなでつくる総合計画 —高知県佐川町流ソーシャルデザイン—
著者:チームさかわ／出版社:株式会社学芸出版社

それぞれの自治体が描く未来像と、その実現のための行動計画を示す「総合計画」。高知県の佐川(さかわ)町では、「みんなでつくる総合計画」と位置付け、住民と行政が丸となって策定。「まじめに、おもしろく」をテーマに、未来を思い描き、考え、語り合いました。住民が「じぶんごと」として、まちづくりを進めるプロジェクトのノウハウが満載の一冊です。



コトハジメ

バスケットボールチームを支える活動
スポーツボランティア

仙台・宮城のバスケットボールチームと言えば「仙台89ERS(エイティナイナーズ)」」。ホームゲームは、ボランティアスタッフのサポートのもとに運営されています。ボランティアは、会場案内やエコステーションの運営、ボランティアスタッフの活動サポートなど、2016年10月から2017年5月まで全30試合で活躍。高校生以上であれば誰でも参加できます。申込み・問い合わせ:仙台89ERS ボランティア事務局 TEL:022-215-8138(平日9:00~18:00) FAX:022-212-7681 HP <https://www.89ers.jp/community/>



ここチェック

誰でも先生、誰でも生徒。
市民がたがいに学びあう場「タピオ館立オープン大学」

通称タピ大(タピダイ)は、より豊かな生活づくりを提案し、自分の持つ「知」をみんなで分かち合うコミュニティです。泉区寺岡にある商業施設「泉パークタウン タピオ」南館1階のパークタウンスタイルを会場に、日替わりで様々な講座が開催されています。テーマは自由。事前申し込みを行えば、誰でも講座を開講できます。興味のある講座にいつでも誰でも受講可能で、買い物や食事のついでに講座に参加することができます。

■開講日時:毎週月~金曜日の平日 19:00~20:00 問合わせ: タピオ館立オープン大学事務局(fmいずみ内) TEL 022-375-8808(受付 平日10:00~18:00) HP <http://www.fm797.co.jp/tapidai/>